

# 令和5年度 学校評価

学校園名	加古川市立平岡北小学校
------	-------------

**1 教育目標** 生きる力を育むいきいきとした楽しい学校 —思いやりに満ちた、豊かな人間関係を基盤として—

**2 基本方針**  
**【めざす学校像】** 子どもが夢の実現に向けて努力し、笑顔あふれる学校  
**【めざす児童像】** ○考える子 ○はげましあう子 ○元気な子 ○進んでやる子 の育成

**3 指導目標**

- 自ら考え 学び続け 行動する実践力の育成
- 認め合い はげましあう 豊かなこころの醸成
- 心身ともに健康な たくまじさと忍耐力の育成
- 創り出す喜びを求め合い 何にでも積極的に挑戦する態度の育成

**評価基準**

A: できている

B: だいたいできている

C: あまりできていない

D: できていない

E: わからない

重点目標	自己評価	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
「確かな学力」を培う	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの「学習規律を定着させ、子どもの基礎学力の定着に努めている」「自分の考えを表現する力の育成に努めている」の2項目では、90%以上が「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」と回答しており、児童アンケートにおいても評価は高い。本校のめざす児童像「考える子」についての成果が表れていると感じている。</li> <li>読書活動に関する項目では、児童アンケートでは評価が3ポイント上がっているが、今年度は「家読」などの新たな取組を行うことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りについては、子ども自身が学びを意識するうえで重要であるため、今後とも取り組んでいきたい。</li> <li>読書活動では、次年度も継続して「家読」など読書習慣につながる取組を行ったり、委員会活動や図書ボランティアを巻き込んだ取組を計画したりして進めていきたい。また、PTAからの本の寄贈により、学校書籍の充実を行い、児童の読書への関心も高めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、学校行事や参観日などに児童や学校の様子を参観させてもらった。授業態度や子どもたちの発表する姿から、しっかり学習に取り組んでいると感じた。また、児童、保護者アンケートからも高い評価を得ている。</li> <li>読書については、昨年度に計画した「家読」の取組が実施されておりPDCAが行われていると感じる。PTAからの本の寄贈も継続的に行う予定であり、より児童の関心を高める工夫を期待したい。</li> </ul>	A
地域とともにある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPやスクリーン等の導入により、学校の情報発信に関する項目については、例年より大幅に保護者の評価が上昇した。</li> <li>今年度から地域住民の方に「登下校ボランティア」を募り、登下校においても地域人材を活用することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は、特色のある学校づくりについて意識を向けて取り組み、更なる発展を目指していきたい。</li> <li>学校は、地域・保護者との連携・協働が求められていることを認識し、協議しながら学校づくりを行っていく。そのためには、学校運営協議会での話題や学校・地域・保護者のニーズ・取組について、情報収集・情報発信を継続して行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、地域住民に「登下校ボランティア」を依頼する新たな取組が行われたのは「地域とともにある学校づくり」の視点からは良かった。コミュニティスクールになると、地域住民、学校、PTA(保護者)の調整がより求められるが、今後も地域人材の活用を進めていってほしい。</li> </ul>	B
誰からも信頼される教職員集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年同様、教職員は、保護者や地域住民との誠実な対応を心がけており、今回も保護者アンケート「子どもについて、教職員と相談できるよう対応できている」の項目では、高い評価を得ることができた。</li> <li>しかし、保護者アンケート「子どものトラブルや悩みについて気づき、適切に対応できている」「一人ひとりの特性や教育的ニーズを把握して、個に応じた支援や配慮を行っている」の項目では評価は低く、教職員の児童理解についての資質向上が必要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス担任はもちろんのこと、子どもと接する全ての教師が、子どもの小さな変化や悩みに気づき、対応していく必要がある。そのためには職員研修の充実が必要である。</li> <li>子どもと関わっていくうえで、教師と子どもとの関係性を構築することは重要であるが、一人で抱え込むことがないよう学年間での連携が重要である。子どもにとっても、縦割り活動やローテーション授業の実施などにより、より多くの教師と関わる場の設定を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のアンケート結果や学校評価からも、平岡北小学校の課題は出てきている。それらを踏まえて、研修等についてしっかり取り組んでもらいたい。</li> </ul>	B